三井関係文献目録　二〇一六

〈単行本〉

髙橋恭子『戦前病院社会事業史―日本における医療ソーシャルワークの生成過程』ドメス出版　二〇一六年一月

中村尚史『海をわたる機関車―近代日本の鉄道発展とグローバル化』吉川弘文館　二〇一六年二月

高崎経済大学地域科学研究所編『富岡製糸場と群馬の蚕糸業』日本経済評論社　二〇一六年三月

安国良一『日本近世貨幣史の研究』思文閣出版　二〇一六年五月

山尾信義『山尾熊蔵の足跡―三井物産ニューヨーク支店初代支配人』二〇一六年五月

久保田裕次『対中借款の政治経済史―『開発』から二十一ヵ条要求へ』名古屋大学出版会、二〇一六年一二月

西村成弘『国際特許管理の日本的展開―GEと東芝の提携による生成と発展』有斐閣　二〇一六年一二月

〈論文・近世〉

高槻泰郎「近世大坂米価の再検討―「米年度」概念の提起」大阪経済大学日本経済史研究所『経済史研究』一九号　二〇一六年一月

下向井紀彦「文政年間の木綿流通統制をめぐる三井越後屋と鳥取藩の交渉」荒武賢一朗編『世界をつなぐ起点としての列島史』清文堂　二〇一六年二月

髙橋元基「江戸の都市史」建築史学会『建築史学』六六号　二〇一六年三月

鷲崎俊太郎「江戸の土地資産市場と不動産抵当金融―築地・鉄砲洲地区における町屋敷売買と家質の事例」九州大学経済学会『経済学研究』八三巻二・三合併号　二〇一六年九月

渡辺浩一「災害復興をめぐる近世都市政策と地域社会」校倉書房『歴史評論』七九七号　二〇一六年九月

村和明「享保期の三井における家法・家史と祖先顕彰―三井高利の事績をめぐって」藤田覚編『幕藩制国家の政治構造』吉川弘文館　二〇一六年一〇月

飯野幸江「享保期における三井両替店一巻の会計帳簿」嘉悦大学『嘉悦大学研究論集』五九巻一号　二〇一六年一〇月

大野瑞男「大坂金蔵拝借帳について」『三井文庫論叢』第五〇号　二〇一六年一二月

賀川隆行「近江八幡商人西川利右衛門家の経営」『三井文庫論叢』第五〇号　二〇一六年一二月

下向井紀彦「書状からみた三井越後屋の伯州木綿仕入―天保期を主な事例として」『三井文庫論叢』第五〇号　二〇一

六年一二月
村和明「三井初期の集団指導体制の変容―宝永期の三井高富と大元方成立」『三井文庫論叢』第五〇号　二〇一六年一二月

〈論文・近代〉

西川登「私盟会社時代の三井物産の事業報告書―明治一四年（一八八一）～明治一八（一八八五）、明治二二（一八八九）」神奈川大学経済学会『商経論叢』五一巻二号　二〇一六年一月
金優綺「北海道における朝鮮人強制連行・強制労働と企業『慰安所』」法政大学大原社会問題研究所『大原社会問題研究所雑誌』六八七号　二〇一六年一月
大豆生田稔「戦時下の豪州小麦輸入をめぐる三井物産・三菱商事―一九三九～一九四〇年の内部資料から」東洋大学『東洋大学文学部紀要』史学科篇四一号　二〇一六年二月
岩淵令治「明治・大正期における「江戸」の商品化―三越百貨店の『元禄模様』と『江戸趣味』創出をめぐって」国立歴史民俗博物館『国立歴史民俗博物館研究報告』一九七集　二〇一六年二月
内田順子「日本橋三越本店におけるパイプオルガンの導入について」国立歴史民俗博物館『国立歴史民俗博物館研究報告』一九七集　二〇一六年二月
小池淳一「明治末から大正初期の万年筆販売における位相とその意義」国立歴史民俗博物館『国立歴史民俗博物館研究報告』一九七集　二〇一六年二月
神野由紀「消費における趣味の大衆化―百貨店における人形玩具趣味と風流趣味を例に」国立歴史民俗博物館『国立歴史民俗博物館研究報告』一九七集　二〇一六年二月
瀬崎圭二「流行（モード）の発信と〈文学〉―松屋呉服店刊『今様』の文芸欄」国立歴史民俗博物館『国立歴史民俗博物館研究報告』一九七集　二〇一六年二月
田中和仁・岩淵令治「須坂の豪商田中本家の発展過程と江戸」国立歴史民俗博物館『国立歴史民俗博物館研究報告』一九七集　二〇一六年二月
長沢利明「豪商田中本家の雛人形」国立歴史民俗博物館『国立歴史民俗博物館研究紀要』一九七集　二〇一六年二月
濱田琢司「工芸品消費の文化的諸相と百貨店―民芸運動とその周辺から」国立歴史民俗博物館『国立歴史民俗博物館研究報告』一九七集　二〇一六年二月
藤岡里圭「大正期の婚礼需要と百貨店の発展」国立歴史民俗博物館『国立歴史民俗博物館研究報告』一九七集　二〇一六年二月
満薗勇「大正期における地方資産家の消費生活と通信販売―

信州須坂・田中本家と三越との関係を中心に」国立歴史民俗博物館『国立歴史民俗博物館研究報告』一九七集　二〇一六年二月
呉征濤「近代における温州木炭の日本輸出―中国の海関資料を中心に」関西大学大学院東アジア文化研究科『東アジア文化交渉研究』九号　二〇一六年三月
平野正裕「第一次大戦末～戦後恐慌期における横浜生糸市場の後退過程―生糸格付問題と神戸生糸市場の歴史的前提について」横浜市史資料室『横浜市史資料室紀要』六号　二〇一六年三月
堀峰生「池田成彬の経営観と三井『改革』」企業家研究フォーラム『企業家研究』一三号　二〇一六年七月
杉山伸也「日本の産業化と動力・エネルギーの転換」社会経済史学会『社会経済史学』八二巻二号　二〇一六年八月
千本暁子「紡績業における雇用関係の転換点―鐘紡と中央同盟会との紛議事件を通して」社会経済史学会『社会経済史学』八二巻二号　二〇一六年八月
谷内正往「戦前神戸の百貨店―元町デパートを中心として」大阪商業大学商業史博物館『大阪商業大学商業史博物館紀要』一七号　二〇一六年一〇月
平井岳哉「高度経済成長期における三井物産の汎用合成樹脂の販売」獨協大学経済学部『獨協経済』九九号　二〇一六年一二月
木庭俊彦「一九二〇年代における三池炭需要と石炭積込の機械化」『三井文庫論叢』第五〇号　二〇一六年一二月
鈴木邦夫「先収会社をめぐる言説―その虚構と事実」『三井文庫論叢』第五〇号　二〇一六年一二月

（その他）

植地勢作「評伝　藤原銀次郎（七）（八）（九）（一〇）」（公財）渋沢栄一記念財団『青淵』八〇二・八〇五・八〇八・八一一号　二〇一六年一月・四月・九月・一〇月
日本女子大学成瀬記念館編『日本女子大学成瀬記念館所蔵広岡浅子関連資料目録』日本女子大学成瀬記念館　二〇一六年一月
千代田裕子「書評　三井文庫編『史料が語る三井のあゆみ―越後屋から三井財閥』」『学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻研究年報』五号　二〇一六年二月
三越日本橋本店本館調査検討会『三越日本橋本店本館調査報告書』改訂第二版　株式会社三越伊勢丹ホールディングス　二〇一六年二月
清水拓・石川孝織・青木隆夫「三井三池製作所製ＭＫＳＰ―ＬＩＵ型自走枠の保存と活用に向けて―夕張市石炭博物館が保管する旧太平洋炭礦使用機械に係る調査記録（第一報）」

九州大学記録資料館『エネルギー史研究』三一号　二〇一六年三月
田川市教育委員会『三井田川鉱業所伊田坑跡　田川市文化財調査報告書　第一五集』田川市教育委員会　二〇一六年三月
筑井正桒著・写真撮影『「官営新町屑糸紡績所」ガイドブック』よみがえれ！新町紡績所の会　二〇一六年三月
東京都北区教育委員会「〈報告〉英国バブコック&ウィルコックス社製WIF型ボイラー部品および明治三八年製芝浦製作所鋼製耐震煙突銘板の保存・展示工事について」『北区飛鳥山博物館研究報告』一八号　二〇一六年三月
栩木敬「続・我が国の人事・労務管理のルーツを探る―三井家の奉公人の労働条件」労働調査会『先見労務管理』一五三二・一五三四・一五三六・一五三八・一五四〇・一五四二・一五四四・一五四六・一五四八・一五五〇　二〇一六年三月～一二月
荒河純「小田原桐座について（五）（六）―由緒書の検討を中心に」小田原史談会『小田原史談』二四五・二四六号　二〇一六年四月・七月
文化審議会答申「（文化財レポート）二〇一五年度前期の史跡等の指定（上）　旧新町紡績所（群馬県高崎市）」吉川弘文館『日本歴史』八一六号　二〇一六年五月
礒辺大暢「高岡藩井上筑後守小日向下屋敷キリシタン牢屋敷についてⅡ」下総郷土史研究会『史談しもふさ』三七号　二〇一六年五月
大原俊秀「（資料紹介）三池炭鉱の囚人労働」福岡県人権研究所『リベラシオン』一六三号　二〇一六年八月
金子祐正「サッポロビール一四〇周年を迎えて―渋沢栄一らの功績を振り返る」（公財）渋沢栄一記念財団『青淵』八〇九号　二〇一六年八月
文化庁文化財部監修「新指定の文化財建造物：重要文化財の指定　近代商業・業務　三越日本橋本店」第一法規『月刊文化財』六三五号　二〇一六年八月
小山順子「UCBにて初めて『古典籍ワークショップ』を開催―三井写本コレクション調査とともに」国文学研究資料館『国文研ニューズ』四四号　二〇一六年八月
平野恭平「研究余録『鐘淵紡績株式会社写真』と大阪紡績工場写真」吉川弘文館『日本歴史』八二〇号　二〇一六年九月
京都府教育庁指導部文化財保護課『重要文化財旧三井家下鴨別邸主屋ほか二棟修理工事報告書』　二〇一六年一二月
渡部正治「左甚五郎と三井の大黒」「から松」山下同人会『から松』三六号　二〇一六年一二月

（補遺）

若林幸男「一九二〇～三〇年代三井物産における職員層の蓄積とキャリアパスデザインに関する一考察―初任給額の決定要因を中心として」明治大学社会科学研究所『社会科学研究所紀要』五三巻一号　二〇一四年十月
松山恵『江戸・東京の都市史―近代移行期の都市・建築・社会』東京大学出版会　二〇一四年三月
江上正高・福本寛「三井田川鉱業所伊田坑跡調査の現状と課題」田川市石炭・歴史博物館『田川市石炭・歴史博物館館報』七号　二〇一四年三月
山口明日香『森林資源の環境経済史―近代日本の産業化と木材』慶應義塾大学出版会　二〇一五年一二月
金子曉男『有楽苑築造記―国宝茶室「如庵」移築と堀口捨己』風媒社　二〇一二年一二月